

公開実用 昭和61-84127

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭61-84127

⑬ Int.Cl.⁴

F 01 P

5/04
3/18

識別記号

庁内整理番号

7515-3G
7515-3G

⑭ 公開 昭和61年(1986)6月3日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 作業車両のエンジン室

⑯ 実 願 昭59-168546

⑰ 出 願 昭59(1984)11月8日

⑱ 考 案 者 池 田 哲 相模原市田名3000番地 三菱重工業株式会社相模原製作所内

⑲ 考 案 者 池 田 由 紀 夫 相模原市田名3000番地 三菱重工業株式会社相模原製作所内

⑳ 出 願 人 三菱重工業株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目5番1号

㉑ 復 代 理 人 弁理士 岡本 重文 外3名

明 細 書

1.〔考案の名称〕

作業車両のエンジン室

2.〔実用新案登録請求の範囲〕

クランク軸を延長して同延長部にファン駆動用プーリを取付け、同プーリ近傍の低い位置に同プーリにより駆動される別のファン駆動用プーリを配設し、上記ファンに合わせてラジエータを低位置に配設したことを特徴とする作業車両のエンジン室。

3.〔考案の詳細な説明〕

（産業上の利用分野）

本考案は作業車両のエンジン室に関するものである。

（従来の技術）

従来の作業車両、例えばブルドーザは第3図に示すように、エンジンカバー(1)がラジエータ(2)エンジン(3)等を囲んで、それ等の保護と騒音防止の役目をし、併せて全車両の外観をよくするようにこれ等の部分を覆っているが、ブルドーザのエン

(1)

ジン(3)は車両の前部に位置していて、エンジン(3)やラジエータ(2)の位置が高い。

(考案が解決しようとする問題点)

前記第 3 図に示すブルドーザでは、高い位置のエンジン(3)やラジエータ(2)を囲むエンジンカバー(1)のうち斜線で示した部分(4)が操作者の眼(16)からの視界を悪くして、特に作業機械であるブレード(17)を見えなくし、操作者の作業能率及び作業精度の向上を妨げ、操作者の負担を多くして、疲労度を高めている。

(問題点を解決するための手段)

本考案は前記の問題点に対処するもので、クラック軸を延長して同延長部にファン駆動用プーリを取付け、同プーリ近傍の低い位置に同プーリにより駆動される別のファン駆動用プーリを配設し、上記ファンに合わせてラジエータを低位置に配設したことを特徴とする作業車両のエンジン室に係わり、その目的とする処は、作業機の見透しをよくし、作業能率及び作業精度を向上できて、操作者を疲れさせない作業車両のエンジン室を供する点

(実 施 例)

20 字删除

(作用)

次に前記本考案の作業車両のエンジン室の作用を説明すると、座席(15)に腰掛けた操作者の眼(16)は低いエンジンカバー(1')を越えて作業機であるブレード(17)を充分観察することができる。

(考案の効果)

本考案の作業車両のエンジン室は前記のようにクランク軸を延長して同延長部にファン駆動用プーリを取付け、同プーリ近傍の低位置に同プーリにより駆動される別のファン駆動用プーリを配設し、上記ファンに合わせてラジエータを低位置に配設しており、エンジンやラジエータを覆うエンジンカバーも低くなり、操作者は同エンジン室を越えて作業機を充分に観察できるので、作業能率及び作業精度を向上できて、操作者を疲労させない効果がある。

4. (図面の簡単な説明)

第1図は本考案に係わる作業車両のエンジン室の一実施例を示す正面図、第2図はその側面図、第3図は従来のブルドーザの側面図である。

(1')...エンジンカバー (2')...ラジエータ
(3')...エンジン (10)...ファン軸
(14)...ファン。

復代理人 弁理士 岡 本 重 文
外3名

Figure 3 is a cross-sectional view of a mechanical assembly. It shows a main body with a central rectangular block (3) and a lower block (2). A hatched area (4) is at the bottom left. A line (1) indicates a section line. A bracket (17) is at the bottom right.